

旧京都電燈古市変電所：旧京都電燈古市変電所の概要

旧京都古市変電所は 1914 年に建設され、地域の歴史的景観への貢献により 2011 年に登録有形文化財に指定された。

変電所は、長さ 19 メートル、幅 8 メートルの一層煉瓦造りである。切妻屋根は、凹型から凸型に起伏する正方形の棧瓦葺きである。木造トラスで屋根を支えており支柱を必要としないため、内部全体を広く利用できるようになっている。変電所の建物は、福井県にある大型レンガ造りの数少ない例の 1 つである。

近くの永平寺口駅ビルと同じで、変電所は京都電燈株式会社によって運営されていた。しかし、変電所の正確な目的ははっきりしていない。建物の外部には、電気ケーブルを通すことができる一連の小さな丸い開口部があり、変電所は電車を走らせるために電力を供給していたようである。しかし、穴は駅の反対側を向いているため、まったく異なる目的を持っていた可能性もある。